

今年度の北辰祭は4年ぶりに一般の方々にもご来場いただき大盛況でした。

体育館ではパンケーキやフルーツ飴、食堂では焼きそばやガパオライスなどの飲食をとまなう模擬店、各教室では縁日やお化け屋敷などの各種イベントを開催。なかには教室内に巨大ジェットコースターをつくったクラスも!!

体育館ステージは、各クラスのダンスパフォーマンス、吹奏楽部、軽音楽部の発表、ビンゴ大会などとても盛り上がりました。本当にたくさんの方々にご来校いただきました。ありがとうございました。



10月21日(土)、北辰祭を開催しました!



上越を盛り上げる!

①関根学園サマーフェスタ

7月9日(日)、本校初の試みとして関根学園サマーフェスタを開催しました。これは小・中学生の子どもたちに様々な体験をしてもらいながら休日を楽しんでもらおうというものです。バスケット部によるフリースロー大会、美術部による工作体験、パソコン部によるeスポーツ体験など子どもたちが参加できるイベントや、吹奏楽部・軽音楽部のミニライブを生徒主体で運営、多くの方々に楽しんでもらいました。そして校長先生による理科実験も開催!大変盛り上がった1日でした!



②第48回上越まつり

7月に開催された「第48回上越まつり」。関根学園も様々なかたちで参加しました。バスケットボール部男子が高田地区の祇園みこしのお手伝い、生徒会と野球部3年生、それに有志メンバーの19人は大民謡流しに参加しました。民謡流しはまだまだ上手にはいきませんが、楽しく参加させてもらいました。



③地域ボランティア

直江津海岸清掃、「高田世界館」の館内清掃、高田城ロードレースボランティア・・・今年も本校生徒が地域に出て様々な活動をしています。このようなボランティア活動は、生徒にとっては上越地域の良さ、魅力を再発見する機会にもなっています。



主張 北辰

昨年引き続き、沖縄にて本校の修学旅行が三泊四日で実施された。以前であれば、「昨年に引き続き」という文言は「行き先が変わらなかった」という意味合いで使われていたであろう。しかし、昨今では「三泊四日の修学旅行が実施された」という意味合いでの使用が増えたように思う。まさに、ここ数年の世の中の変化を示すようである。新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行したことは大いに関係しているが、那覇の国際通りや北谷のアメリカンビレッジなどを歩き回らる中で、かつての平穏を取り戻しつつあることを、観光客の目線を感じることができた四日間でもあったようだ。

「平穏」という言葉を安易に用いてしまったが、日本の外に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻は未だに終わる気配がなく、パレスチナをめぐる問題が激しくなっている。日本近辺でも朝鮮民主主義人民共和国による弾道ミサイルと思しき物体の発射が何度も確認されている。今回の修学旅行直前でもそれは起こった。こうした中で、日本の国際社会での役割や防衛に関する議論をさらに進めていかなければならない段階にきている。

さて、そのような状況下で実際に沖縄を訪れ、生徒たちは何を感じたのだろうか。

多くの人が知るところではあるが、沖縄は米軍基地が至る所に存在する。道中には至る所で米軍基地やそれに関わる施設を目にすることができた。中にはそのことについて詳細に説明してくれたバスガイドさんがいたようである。しかし、そのことについてあまり言及をしなかったバスガイドさんもいたようである。

その違いはどこから来るのだろうか。果たし

てバスガイドさん個人の違いによるものだけののだろうか。修学旅行の一行に対して基地の話をしてしまえば興がさめしてしまうとも思われたのかもしれない。敢えて「多くの人が知るところではあるが」と回りくどい表現をしたが、果たして今回の参加者全員がこの状況を知っているとは私は言える自信がない。それは多少言い過ぎだとしても、果たしてそれを理解しようとする姿勢は見られたのだろうか。実際のバスの中はどのような雰囲気だったか確認する術はないが、「本土」から来た高校生には伝わらないとバスガイドさんに思わせた可能性も否定できない。ましてやようやく観光業も復調の兆しを見せ始めたこのタイミングで気分を上げるようなことをしたくなかったとも推測できる。

だとすれば、我々教員も反省すべき点がある。修学旅行の事前学習として「平和」について考える機会を設けたが、それは充分だったのだろうか。「旅行」をするということに重きを置き過ぎてはなかっただろうか。「コロナ禍」による閉塞感が続いたことから、ある程度の楽しみが必要であるという意見も理解はできる。では、行き先に沖縄を選んだ理由は何なのか。そこにまで考えが至らなかった部分もあるのではないかと。とは言ったものの、「平和」について語ろうとしても、受け取る側の高校生に本当に伝えられるのか不安が付きまとう。「平和でない状況、すなわち戦争を経験したことがなければ、先述の通り、若者が忌避するような話題でもある。」

だからこそ、修学旅行という機会を使って、「平和」について、臆することなく語っていかねばならない。昨今、なるべくリスクを避けて物事を進める傾向が強くなっているように感じる。しかし、「平和」について語ることにリスクがあるのだろうか。熱意をもって話せば伝わるという思いが自らに足りなかった。自省の念に駆られた四日間であった。

編集・発行 関根学園高等学校

令和6年度 生徒募集	1月入試 (推薦・専願・併願)		2月入試 (専願・併願)		3月入試 (専願)						
	令和6年 試験日	1月16日(火)	令和6年 合格発表日	1月18日(木)	令和6年 試験日	2月15日(木)	令和6年 合格発表日	2月16日(金)	令和6年 試験日	3月19日(火)	令和6年 合格発表日

※詳しくは本校募集要項・ホームページをご覧ください。

越境キャリア教育プロジェクト

本校特進コースの生徒と神田外語学院国際ビジネスキャリア科（以下、神田外語学院IBC）の学生、あわせて24名が、10月2日（月）～7日（土）までの期間限定で、東京で上越地域の特産品を販売するショップ「おかえりby雪國商店」をオープンしました。

本校と神田外語学院IBCは、2018年から高専連携教育の一環として「越境キャリア教育」の実践に取り組んできました。6年目を迎える今年度は、これまで学んできた上越地域の特性や観光資源を広報する場として「おかえりby雪國商店」を運営することとなりました。

今年8月に本校生徒と神田外語学院IBCの学生が、上越地域の特産物を生産する地元生産者や販売する地元商店とともに訪れ、商品や商品に込められた作り手の想いをインタビューするなど、市場調査やフィールドワークを実践しながら商品を選定、商品の仕入れには「雪國商店」(<https://yukiguni.shop/>) のサポートをいただきながらオープンにいたしました。

オープンした場所は東京都千代田区神田の神田外語学院MOVE多言語センター。販売した商品は、ここ数年話題になっている新潟を代表する和菓子「笹団子パン」や上越の地酒など計22品目。本校生徒は10月6日（金）から店頭に立ちましたが、夕方は仕事帰りの方々で大変な混雑、店舗も大変賑わいました。首都圏に住む本校卒業生がわざわざ店舗を訪れてくれたりもしました。期間中の6日間での売り上げは約48万円と、すべての商品が売上目標を達成しました。



販売商品（一部抜粋）

翁飴（高橋孫左衛門商店）／かんずり屋さんのゆずカレー（かんずり）／笹団子パン（小竹製菓）／出陣餅（かなざわ総本舗）／みそ屋の豆菓子（杉田味噌醸造場）／純米吟醸 かたふね（竹田酒造店）



11月5日（日）には、今回の神田外語学院IBCとの協働学習の発表会を、上越妙高駅前JM-DAWNにておこないました。「おかえりby雪國商店」の企画・運営から気づき、学んだことをもとに、上越地域の観光などについて生徒の目線で様々な発表をさせていただき、商品を提供していただいた生産者、商店の方々や、上越市役所の方々にもお越しいただき発表を聞いていただきました。

今回、上越地域の商品の魅力をPRすることを通して、上越の歴史や文化、伝統、生産者の想いを学ぶことができました。子どもたちが上越を愛し、上越に誇りをもつ契機になればと考えています。今後も様々なかたちで上越地域の魅力を全国に、世界に発信していきたいと思います。



越境キャリア教育とは？

越境キャリア教育とは、学校や企業が教育制度の一環として生徒や従業員に越境学習をさせることです。越境学習とは、生徒や従業員が所属している学校や企業とは異なる環境で、新たな体験をして、視野を広げたり、学びを得たりする活動です。

修学旅行にってきました



那覇国際通りで自由散策



首里城守礼門



美ら海水族館



ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ



「富寿しノベナ支店」で夕食



現地大学生との交流

11月29日（水）～12月2日（土）、3泊4日で修学旅行にってきました。旅行先は、普通・進学コースが沖縄、特進コースがシンガポール。それぞれの地で、上越、日本とは違う文化を体験することができました。

躍進 ～めざせ全国大会～



硬式野球部

9月に開催された北信越高校野球新潟県大会で、第3代表決定戦のすえ北信越大会出場を決めました。北信越大会でも初戦を突破し、ベスト8で大会を終えました。

【県大会】

2回戦 関根 13－5 十日町
3回戦 関根 12－2 長岡向陵
4回戦 関根 3－0 新潟商業
準々決勝 関根 7－3 六日町
準決勝 関根 1－5 日本文理
代表決定戦 関根 8－0 開志学園

【北信越大会】

1回戦 2－1 高岡商業
2回戦 6－13 日本航空石川

バスケットボール部 男子



新潟県高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ新潟県予選）で、11月2日（木）・3日（金）に開催された決勝リーグに進出。開志国際高校・帝京長岡高校・新潟工業高校と対戦し、上位2校に与えられる全国大会出場の切符にはあと一步届きませんでしたが、堂々3位で大会を終えることになりました。

4回戦	関根 154－45 糸魚川
5回戦	関根 122－83 小千谷
ブロック決勝	関根 89－79 新潟商業
決勝リーグ	関根 65－109 開志国際
	関根 71－110 帝京長岡
	関根 85－61 新潟工業

陸上競技部



新潟県高校駅伝競走大会で4位となり、6年ぶりとなる北信越大会出場を決めました。北信越大会では全国レベルの強豪と競り合いながら12位。1、2年生主体のチームだけに、来年度の飛躍を期待します。

【県高校駅伝】

1区 原 泰輝	2区 宮腰 陽
3区 梅田 翔平	4区 太田 恭佑
5区 吉岡 瑠亜	6区 柴田 俊輝
7区 竹内 柊羽	

バレーボール部 男子

全日本バレーボール高校選手権大会新潟県予選会（春高バレー新潟県予選）で3位に。惜しくも準決勝で敗れましたが、昨年に引き続き実力を見せてくれました。

1回戦

関根 2－0 新潟明訓
2回戦 関根 2－0 長岡工業
3回戦 関根 2－0 小千谷
準々決勝 関根 2－1 北越
準決勝 関根 0－2 東京学館新潟

インターハイ&国体出場

ソフトテニス部、空手道部、体操部がインターハイに出場しました。なかでもソフトテニス部は久しぶりの全国大会出場。高野・秋山の2年生ペアが男子個人戦で3回戦まで進出しました。

バレーボール部女子は、かごしま国体のビーチバレー競技に出場。長谷川姫奈さんと長谷川真里奈さんの姉妹ペアが県制覇、国体出場権を勝ち取りました。



国際交流

アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市グラント高校から6名の生徒が、高校間交流で関根学園高校を訪れてくれました。本校校舎内で交流会を持ったのち、うみがたり、春日山神社など市内の観光名所を本校生徒たちが案内し、茶道体験なども一緒におこないました。また、イオンなど商業施設を一緒にみてまわり、フードコートやゲームセンターなどで一緒に時間を楽しみました。



関根学園に留学生がやってきました！

留学生はボリビア出身マテオ（Mateo）くん。本校生徒と一緒に授業を受けながら、日本語や日本文化を学んでいます。趣味はサッカーとのこと。放課後にはサッカー部で活動したりもしています。

また、2学期から本校2年生の飯塚くんがアメリカへ、3年生の山崎さんがカナダへそれぞれ1年間の留学へ行っています。英語漬けの日々のなかで、様々な経験をして帰ってきてもらいたいと思います。



パソコン部

今年から本格的に活動を開始したパソコン部 eスポーツ科 が全日本高校eスポーツ選手権予選大会に初めて出場しました。出場したのはロケットリーグ部門。本校からは2チームがエントリーし、初出場ながら1チームが1回戦を突破することができました。全国の壁はあつく、思い通りに試合を進めることができない時間帯が多く続きましたが、初出場初勝利と収穫の多い大会となりました。全国ベスト4のみに与えられる本選出場権を目指して今後もパソコン部は邁進していきます。

